気高・鹿野地区におけるAIオンデマンドタクシーの実証実験

令和４年６月６日　地域づくり推進部地域交通政策課

１　経緯

・日本交通浜村営業所（タクシー）がR3.3末で撤退。

・現在は有限会社ニュー青谷タクシー（青谷町）が元日本交通浜村営業所に週２回に常駐して対応しているが、毎日ではないことや夜間対応ができないため日常の買い物・通院や旅館利用者が不便になるなど支障が生じており、鳥取市が新たな交通手段を検討していたもの。

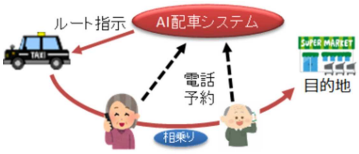
２　実証運行概要

・鳥取市は有限会社サービスタクシー（鳥取市栄町）と連携して、気高、鹿野地区の一部の地域（浜村、逢坂、勝谷）でAIオンデマンドタクシー（※）の試験運行を予定（R4.10～R5.3 の半年間）

※人工知能（AI）が複数の乗車予約を組み合わせて最適なルートを設定し、効率の良い運行と利便性向上を両立させ、持続可能な交通体系の構築を図るシステム。

・AIオンデマンドタクシーのシステムは、交通系コンサルの株式会社バイタルリード（出雲市）の開発したTAKUZO（タクゾー）を採用

＜AIオンデマンドシステム「TAKUZO」の特徴＞



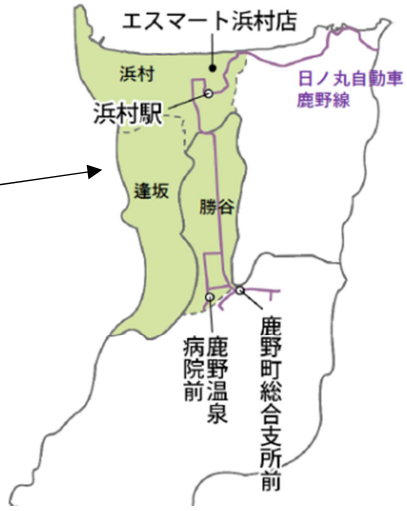
・<u>１台の車両をAIを活用した相乗りにより地域で上手にシェア</u>して、高い効率性と<u>そこそこの利便性</u>を両立させたシステム

・相乗りが発生しやすいアルゴリズムを採用し、高い効率性を実現している（例：路線バスや鉄道への乗継は優先順位が高く、買物等は遅れを許容）

・<u>サブスクリプションを県内で初めて導入</u>。気高・鹿野では月額4000円程度（新聞報道であり確定したものではありません）。これにより、都度の支払いの手間がなくなることと、毎回の運賃を気にせず利用できるため、当該システム導入の先進地（島根県温泉津町）では、高齢者の買い物、通院以外の余暇活動（温泉など）の外出頻度が増加する効果が出ている。

・高齢者が使いやすいよう電話予約に対応。

３　事業費（鳥取市）

R4年度5,900千円（システム導入費等、県1/2補助予定）

・色塗り部分が実証実験エリア
・月額4000円程度（新聞報道であり確定したものではありません）で乗り放題となる